



文化財保護シンボルマーク

このシンボルマークは、ひろげて
両手の手のひらの「ハサミ」によつて
日本建築の重要な要素である斗栱
(組みもの) のイメージを表し、
これを三つ重ねることにより、等文化財
という民族の遺産を過去・現在・未
来にわたり永遠に伝承していくこと
いう愛護精神を象徴したもので

うんせんし まいどうぶんかさい 雲山市の埋蔵文化財について

こうじるくうじ はくくつちゅうさ
～神代小路の発掘調査～

しきうじ らん
昭和22年ごろ

しなましりょうなん
市歴史資料館
くわいたんじかん
国見展示館

つるかのじゅうあと こうしきじゅうあと
鶴亀城跡(神代城跡)

へいせい ねん
平成13年ごろ

じょうゆうじ
調査地点

ながさきけんうんさんしきょうめぐみんかく
長崎県雲仙市教育委員会

ひょくしまいがい こうじるくうじ ちく つるかのじゅうあと こうしきじゅうあと
表紙背景「神代小路地区と鶴亀城跡(神代城)」

しきうじ らん
昭和35年ごろ

○神代小路地区について

神代小路地区は、雲仙市国見町神代に所在します。1608年に誕生する神代鍋島家の陣屋を中心として、当時のまちなみの様子が今に残る武家町として、平成17年7月22日、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。地区内には古民家や石垣・竹垣など、江戸時代の風情が薫る風景が広がります。地区の中心的な建物である神代鍋島家の陣屋、鍋島邸（旧鍋島家住宅）は、江戸末期の建物を基にして、明治・大正・昭和と改修・増築され現在の姿となり、貴重な歴史資料として、平成19年6月18日、国の重要文化財に指定されています。

○発掘調査したのはなぜ?

伝承によると、「神代小路地区は、神代鍋島家第4代当主鍋島高就により、河口や沼地を埋立てて作られた」とされています。江戸時代の道路や住宅の区割りが、数百年間ほとんど変わっていないと考えられます。太平洋戦争後の近代化により、部分的に変わってしまった場所もあるようです。今回調査した部分は、まちなみの中央部分で、当時は「枠形」と呼ばれる直角に曲がる道路が交差する部分でした。現在は車の通行の利便性を考えて道路の位置が若干変わっています。

地区的防災のために防火水槽の建設が計画されたため、工事を実施する前に地下に残る江戸時代からの歴史を調査するために発掘調査を行いました。



○発掘調査のようす

調査は平成21年度に行いました。江戸時代の絵図面や明治時代の字図、昭和22年の航空写真などから、昔の建物跡や道路の跡などが見つかる事が予想されました。また、地区の方の中には、幼少のころ、当時の道路を実際に通っていた方もおられ、地区の中央部分の歴史の解明に大いに役立つ調査成果が発見されました。

調査地点の畠の土を30cmほど掘ると、道路の跡

や石垣、江戸時代の茶碗や皿などが見つかりました。
また、建物の基礎石は見つかりませんでしたが、基礎
石の下の地盤を固めるための「地固めの跡」が見つか
っています。江戸時代末期の建物である「鍋島邸の
御北」も同様の「地固め跡」の上に大きな基礎石を置
き、その上に建物の柱が建ててあります。



検出された道路跡

の証言とも一致し、道路幅も江戸時代から太平洋戦争後まで変わっていないと考えられます。また、
道路表面をよく観察すると、表面に直径1cm~2cmほどの川原の丸い砂利が敷き詰められた痕跡
があり、荷車の轍と考えられるくぼみも見つかれています。

発見された遺物は、江戸時代のものから昭和40年代のものまで幅

広く見つかっています。道路があったと考えられる部分からは、江戸
時代後半の茶碗・皿・花瓶・土製の皿・水滴（墨を磨る際の水入れ）

など。道路脇の水路からは昭和のガラス瓶などが見つかっています。

ウイスキー・ビールの瓶、醤油の瓶など、いずれもほとんどが生
活用品です。



遺跡見学会の様子

石垣や地固め跡の検出

見つかった道路跡と、建物の「地固め跡」とは同じ向きで見つかりました。このことは、
当時の建物やその敷地が、地区内の道路の向
きに合わせて、整然と区画されていたことを
示し、今につながるまちなみの基礎が江戸時
代から続くものであることを物語っています。

また、道路の幅は約2mほどで、実際に子供の
ころに道路を通っていた方の「荷車を引くのが

精一杯の幅だった、1.8m~2mぐらい」と



江戸時代の陶磁器



昭和のガラス瓶

発掘調査によって昔の様子の一端を

垣間見ることが出来ました。まだまだ多

くの歴史が地面の下には眠っています。

これからも雲仙市の埋蔵文化財を大事

に守っていきましょう。

(トリウヰスキーなど)

雲仙市管内図



くびつかこふん
首塚古墳
いなりおいくわこふん
稻荷鬼塚古墳
いっぽんまづこふん
一本松古墳

「雲仙市の主な遺跡」
(一部の遺跡は市HPで紹介しています)

うんぜんし おもいせき
守山大塚古墳

いこいせき
伊古遺跡

こうじろくうじ
神代小路

つげいせき
佃遺跡

りょうおういせき
龍王遺跡

いわや
鬼の岩屋

なべしまいせき
鍋島邱

こうかじしじ
鶴鳴城(神代城)

えりかじしじ
杉峰城跡

やまだじしおりあい
山田城跡

やまだじしおりあい
山田条里跡

くじやいせき
栗山遺跡

ひゃくがいせき
百花台遺跡

こうぼうばらいせき
弘法原遺跡

はんさかいしすか
藩境石塚

ひじわ
土ぬの池

かまふたじあと
蓋蓋城跡

いいだけじょあと
飯岳城跡

やまとりょくいせき
山領遺跡

あさやまいせき
朝日山遺跡

おばまちょう
小浜町キリストン墓碑

ほひ
ほひ

みなみいわちらう
南串山町キリストン墓碑

くしやまじょあと
串山城跡

くにさかいせき
国崎遺跡

雲仙市の埋蔵文化財

～神代小路の発掘調査～

発行日 2013.03.29

発行／雲仙市教育委員会

長崎県雲仙市千々石町582番地

TEL 0957-37-3113

印刷／雲仙企画印刷株式会社



1:75,000